

市町村分別収集計画（第 1 1 期）
（容器包装に係る分別収集及び
再商品化の促進等に関する法律）

令和 7 年 6 月

二本松市
本宮市
大玉村
安達地方広域行政組合

目次

1	計画策定の意義	1
2	基本的方向	2
3	計画期間	2
4	対象品目	2
5	各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み (法第8条第2項第1号)	3
6	容器包装廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項 (法第8条第2項第2号)	7
7	分別収集するものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物 の収集に係る分別の区分(法第8条第2項第3号)	9
8	各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量 及び第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み (法第8条第2項第4号)	10
9	各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量 及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める 物の量の見込みの算定方法	14
10	分別収集を実施する者に関する基本的な事項(第8条第2項第5号) ..	19
11	分別収集の用に供する施設の整備に関する事項 (法第8条第2項第6号)	20
12	その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項 (第8条第2項第7号)	21
13	資料編	

1 計画策定の意義

経済発展に伴う大量生産、大量消費等の社会経済システムは、私たちに豊かで便利な生活をもたらす一方、環境への負荷の増大や最終処分場のひっ迫等の深刻な社会問題を引き起こしています。持続可能な循環型社会の形成には、廃棄物の排出を抑制し、その上でリサイクルを推進していく必要があります、とりわけ一般廃棄物の中で相当の割合を占め、生活に身近な容器包装廃棄物に関する取り組みは極めて重要であります。

国では、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（以下「容器包装リサイクル法」という。）が平成7年に施行され、平成12年度の完全施行以降、住民は容器包装廃棄物を分別して排出し、市村は分別収集し、事業者はそれらの再商品化に取り組んできました。この取り組みにより、一般廃棄物の排出量や最終処分量の減量化に一定の成果をあげてきましたが、収集量の増大や更なる一般廃棄物の最終処分量の削減のためには、より一層、取り組みを推進する必要があります。

また、海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題などへの対応を契機として国内におけるプラスチック資源循環を一層促進する重要性が高まっていることから、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（以下「プラスチック資源循環法」という。）が令和4年4月1日に施行され、市町村はプラスチック製容器包装も含め、その区域内におけるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととされたところです。

安達地方広域行政組合（以下「本組合」という。）は、構成市村である二本松市、本宮市、大玉村から発生する一般廃棄物の収集運搬及び処分に取り組んできました。

本組合では構成市村と連携し、平成3年10月よりリサイクルセンター（空缶選別圧縮ライン、ビンストックヤード）の供用を開始し、資源ごみ（11種類）、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、有害ごみの5種15分別の収集を開始しました。

平成6年10月からは紙類ストックヤード（保管施設）の供用を開始し、紙類の分別ストックを開始するとともに、不燃ごみを3種類（ガレキ類、プラスチック類、自家焼却灰）に区分し、5種17分別の収集を開始しました。

その後、もとみやクリーンセンターを供用開始し、不燃ごみ、資源ごみ、ビニール・プラスチック類等の分別収集を進め、現在5種19分別の収集状況となっています。

さらに、平成22年4月からは、プラスチック製容器包装と空缶選別ラインを有するリサイクルセンターの供用を開始し、選別及び圧縮梱包を行い、容器包装リサイクル法の分別基準の適合に努め、循環型社会の形成に向けて取り組んでいるところです。

この様な情勢において、「容器包装リサイクル法」に基づき、令和4年6月に「第10期分別収集計画」を策定し、容器包装廃棄物の分別収集と再資源化を推進してきました。

このたび、「第10期分別収集計画」の策定から3年経過したことから、昨今の現況を踏まえ見直すものであり、この分別収集計画に基づき、住民、事業者、行政がそれぞれの責任分担を明確にして、関係者が一体となって推進する方策及び取り組むべき方針を示し、容器包装廃棄物の再資源化を推進することによって一般廃棄物の減量化及び、最終処分場をはじめとする廃棄物処理施設の延命化と循環型社会の形成を推進していくものです。

2 基本的方向

本計画を実施するにあたっての基本的方向を以下に示します。

- (1) 現行施策を継続し、より発展的な施策、制度の下での循環型社会を構築します。
- (2) 本組合及び組合構成市村である二本松市、本宮市、大玉村の連携・協力による快適な地域社会を構築します。
- (3) 住民、事業者、再生事業者、行政が一体となった、ごみの排出抑制、資源化を推進します。
- (4) 住民参加型のごみ減量とリサイクル運動を積極的に推進します。
- (5) 製品プラスチックが対象品目として位置付けられたことにより、今後プラスチック製品のリサイクル化に向けた実現可能な取り組みを検討していきます。

3 計画期間

本計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間の計画とし、社会情勢の変化や取り組みの進捗状況を踏まえ、3年ごとに見直しを行います。

4 対象品目

本計画における分別収集の対象は、スチール缶、アルミ缶、無色ガラスびん、茶色ガラスびん、その他ガラスびん、紙パック、ダンボール、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装、製品プラスチックの11品目とします。（表1）

表1 分別収集対象品目

分別収集をする容器包装廃棄物の種類	収集に係る分別の区分
主としてスチール製の容器	スチール缶
主としてアルミ製の容器	アルミ缶
主としてガラス製の容器 ・無色ガラス製容器 ・茶色ガラス製容器 ・その他ガラス製容器	無色ガラスびん
	茶色ガラスびん
	その他ガラスびん
主として紙製の容器であって飲料を充てんするためのもの (原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。)	紙パック
主としてダンボール製の容器	ダンボール
主として紙製の容器包装であって、紙パック・ダンボール以外のもの	紙製容器包装
主としてポリエチレンテレフタレート (PET) 製の容器であって飲料、しょうゆ等を充てんするためのもの	ペットボトル
主としてプラスチック製の容器包装であって、上記以外のもの	プラスチック製容器包装
プラスチック資源循環法に基づき分別収集するもの	製品プラスチック

5 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み (法第8条第2項第1号)

本組合から排出される容器包装廃棄物の排出量の見込み及びその各品目の内訳を表2～表7に示します。

品目ごとの容器包装廃棄物の量は、ごみ排出量（集団回収量を除く）に、「市町村分別収集計画策定の手引き（十一訂版）」に基づき、ごみ排出量に占める品目ごとの容器包装廃棄物比率（ α ）（表2）を乗じて算出します。

この手法によって算出された見込量は、実際に分別収集等により収集された量とは異なり、分別の不徹底により燃やせるごみ等に混入した分も含まれるものとします。

ごみ排出量 (集団回収量を除く)	×	容器包装・製品プラスチック 算定対象廃棄物量に 占める容器包装・製品プ ラスチック廃棄物の比率 (α)	=	容器包装廃棄物・製品プ ラスチック廃棄物排出量 の見込み
---------------------	---	--	---	------------------------------------

表 2 ごみ排出量に占める容器包装廃棄物比率（ α ）

[構成割合（湿重量割合：％）]

品目名	比率
スチール缶	0.7
アルミ缶	1.4
無色ガラスびん	1.9
茶色ガラスびん	1.5
その他ガラスびん	0.1
紙パック	0.6
ダンボール	4.2
紙製容器包装	3.1
ペットボトル	2.5
白色トレイ	0.3
プラスチック製容器包装	9.2

（出典：市町村分別収集計画策定の手引き（十一訂版）P 34）

表 3 各年度における容器包装廃棄物及び製品プラスチックの排出量の見込み

[単位：t/年]

項目	年度	令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
容器包装廃棄物 組合合計		6,844.1	6,743.5	6,607.2	6,490.2	6,374.5
二本松市		3,962.6	3,895.7	3,808.3	3,732.4	3,657.1
本宮市		2,258.4	2,227.4	2,184.5	2,148.0	2,111.8
大玉村		623.0	620.4	614.3	609.9	605.7
製品プラスチック 組合合計		—	—	—	—	—
二本松市		—	—	—	—	—
本宮市		—	—	—	—	—
大玉村		—	—	—	—	—

※当組合では、現在、製品プラスチックの取扱いがないため、見込量を算定しておりません。

表4 組合（容器包装廃棄物）

〔単位：t/年〕

項目 \ 年度	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
合計	6,844.1	6,743.5	6,607.2	6,490.2	6,374.5
スチール缶	186.2	183.4	179.7	176.5	173.3
アルミ缶	372.4	366.9	359.4	353.0	346.6
無色ガラスびん	505.4	497.9	487.8	479.1	470.5
茶色ガラスびん	399.0	393.1	385.1	378.2	371.4
その他ガラスびん	88.0	87.6	86.7	86.1	85.4
紙パック	159.6	157.2	154.0	151.3	148.6
ダンボール	1,117.1	1,100.6	1,078.2	1,059.0	1,039.9
紙製容器包装	824.6	812.3	795.8	781.6	767.6
ペットボトル	665.0	655.1	641.8	630.3	619.0
白色トレイ	79.8	78.6	77.0	75.7	74.3
その他プラスチック製 容器包装	2,447.1	2,410.8	2,361.7	2,319.6	2,277.9

表5 二本松市（容器包装廃棄物）

〔単位：t/年〕

項目 \ 年度	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
合計	3,962.6	3,895.7	3,808.3	3,732.4	3,657.1
スチール缶	107.8	106.0	103.6	101.5	99.5
アルミ缶	215.6	212.0	207.2	203.0	198.9
無色ガラスびん	292.7	287.7	281.2	275.5	269.9
茶色ガラスびん	231.0	227.1	222.0	217.5	213.1
その他ガラスびん	50.3	50.0	49.4	48.9	48.4
紙パック	92.4	90.8	88.8	87.0	85.2
ダンボール	646.9	635.9	621.6	609.1	596.7
紙製容器包装	477.5	469.4	458.8	449.6	440.4
ペットボトル	385.1	378.5	370.0	362.6	355.2
白色トレイ	46.2	45.4	44.4	43.5	42.6
その他プラスチック製 容器包装	1,417.0	1,393.0	1,361.5	1,334.2	1,307.1

表6 本宮市（容器包装廃棄物）

〔単位：t/年〕

項目 \ 年度	令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
合計	2, 258. 4	2, 227. 4	2, 184. 5	2, 148. 0	2, 111. 8
スチール缶	61. 5	60. 6	59. 4	58. 4	57. 4
アルミ缶	122. 9	121. 2	118. 8	116. 8	114. 9
無色ガラスびん	166. 8	164. 5	161. 3	158. 6	155. 9
茶色ガラスびん	131. 7	129. 8	127. 3	125. 2	123. 1
その他ガラスびん	28. 8	28. 7	28. 4	28. 3	28. 1
紙パック	52. 7	51. 9	50. 9	50. 1	49. 2
ダンボール	368. 7	363. 6	356. 5	350. 5	344. 6
紙製容器包装	272. 1	268. 3	263. 1	258. 7	254. 3
ペットボトル	219. 5	216. 4	212. 2	208. 6	205. 1
白色トレイ	26. 3	26. 0	25. 5	25. 0	24. 6
その他プラスチック製 容器包装	807. 6	796. 4	780. 9	767. 8	754. 7

表7 大玉村（容器包装廃棄物）

〔単位：t/年〕

項目 \ 年度	令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
合計	623. 0	620. 4	614. 3	609. 9	605. 7
スチール缶	16. 9	16. 9	16. 7	16. 6	16. 4
アルミ缶	33. 9	33. 7	33. 4	33. 1	32. 9
無色ガラスびん	45. 9	45. 7	45. 3	45. 0	44. 6
茶色ガラスびん	36. 3	36. 1	35. 8	35. 5	35. 2
その他ガラスびん	8. 9	8. 9	8. 9	8. 9	9. 0
紙パック	14. 5	14. 4	14. 3	14. 2	14. 1
ダンボール	101. 6	101. 1	100. 1	99. 4	98. 7
紙製容器包装	75. 0	74. 6	73. 9	73. 3	72. 8
ペットボトル	60. 5	60. 2	59. 6	59. 2	58. 7
白色トレイ	7. 3	7. 2	7. 2	7. 1	7. 1
その他プラスチック製 容器包装	222. 5	221. 5	219. 3	217. 7	216. 1

6 容器包装廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項 (法第8条第2項第2号)

本組合における容器包装廃棄物の排出抑制のため、住民、事業者、行政がそれぞれの立場から役割を分担し、相互に協力・連携を図りながら次の施策を促進します。

1) 排出抑制のための役割分担

【住民の役割】

- (1) 住民団体による集団回収の利用拡大に努めます。
- (2) マイバッグ・マイボトル等を積極的に利用するよう努めます。
- (3) 紙・プラスチック分別など再資源化向上のための取り組みに努めます。
- (4) 使い捨て商品の利用を自粛し、詰め替え商品を優先的に利用するよう努めます。

【事業者の役割】

- (1) 発生源における発生抑制に努めます。
 - ①排出者責任、拡大生産者責任^{注1}の認識の向上に努めます。
 - ②環境配慮型の事業展開に努めます。
- (2) 過剰包装の抑制に努めます。
- (3) レジ袋、包装の要否確認の取り組み拡大に努めます。

【行政の役割】

- (1) 啓発活動の充実を図ります。
 - ①環境・リサイクル等の情報提供の充実を図ります。
 - ②地域説明会等によるコミュニケーションの充実を図ります。
 - ③意識高揚を図るイベントの充実を図ります。
 - ④多量排出者への指導に努めます。
 - ⑤転入者等への啓発を図ります。
 - ⑥分別ルール of 周知強化、指導に努めます。
- (2) 教育の充実を図ります。
 - ①学習機会の創造に努めます。
 - ②小・中学生を対象とした事業の充実を図ります。

※注1：拡大生産者責任とは、生産者が製品の生産・使用段階だけでなく、廃棄・リサイクル段階まで責任を負うという考え方。

2) 容器包装廃棄物の排出抑制のための施策

排出抑制のための施策を表8に示します。

表8 容器包装廃棄物の排出抑制のための方策

施策	具体的な内容
①環境教育の充実	- 開始時期：平成3年度～（継続） - 実施方法：学校教育にてごみの減量化、再生利用の取り組みを継続。ごみ処理の問題を身近な問題として理解しやすいように努めています。 - 小学4年生用社会科副読本の作成、配布 - 小学4年生を対象にしたごみ処理施設見学など
②集団回収の継続	- 開始時期：平成9年度～（継続） - 実施方法：構成各市村による資源ごみの集団回収。団体への奨励金や回収事業者への助成金の交付等により、活動を支援し、排出抑制効果の向上に努めています。
③リユースの推進	- 開始時期：平成12年度～（継続） - 実施方法：再利用できるものはリサイクルショップやフリマアプリの活用など、有効利用をしてごみを減らすことができるよう処理方法などを周知するよう努めています。
④ポスター、チラシ、リーフレット等の配布及び掲示による啓発活動	- 開始時期：平成14年度～（継続） - 実施方法：ポスター、チラシ、リーフレット等の配布による周知。公共施設、商店事業所等に配布掲示により住民・事業者等にごみ処理やリサイクルの状況を認識してもらうとともに容器包装廃棄物の分別収集の重要性の周知と排出抑制に努めています。
⑤ごみ処理やリサイクル情報を発信する方法の導入検討	- 開始時期：平成14年度～（継続） - 実施方法：従来実施しているチラシ等による情報提供と市村・組合ウェブサイトのほかに、社会情勢に合った情報ツールを随時見直し、国、県、市村・組合の取り組みや循環型社会への関心情報を迅速、正確かつわかりやすく提供するよう努めています。
⑥収集袋の細分化	- 開始時期：平成19年10月～（継続） - 実施方法：ごみ収集指定袋を2種類（可燃ごみ、不燃ごみ）から5種類（もやせるごみ、ビニール・プラスチックごみ、プラスチック製容器包装、破碎するごみ、埋立ごみ又は布類）に細分化。プラスチック類についてもビニール・プラスチックごみとプラスチック製容器包装に分け、5種19分別の収集とし、資源化と排出抑制に努めています。
⑦環境アプリの活用	- 開始時期：令和3年度～（継続） - 実施方法：組合ウェブサイトや構成市村の広報などにより、福島県で開発した「環境アプリ」の活用を推進し、ごみの減量化に努めています。
⑧リユース協定の締結	- 開始時期：令和6年度～（新規） - 実施方法：地域の情報サイト事業者とリユースに関する協定を締結し、リユース啓発の推進に努めています。

7 分別収集するものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分(法第8条第2項第3号)

本組合における最終処分場の残余年数、リサイクルセンター及びリサイクルプラザでの資源化及び再商品化計画を総合的に勘案し、分別収集する容器包装廃棄物の種類を表9左欄のように定めます。

また、住民の協力度合い、施設、収集体制、収集機材等を勘案し、収集に係る分別の区分を表9右欄のように定めます。

本組合では、平成3年10月より資源ごみの分別収集（缶類、ガラスびん類、ダンボール、紙パック）を開始しました。さらに、平成14年11月からはペットボトル、平成18年6月からは紙製容器包装、平成19年10月からはその他プラスチック製容器包装の分別収集をそれぞれ開始しています。

表9 分別収集する容器包装廃棄物の種類及び分別の区分

容器包装廃棄物の種類	収集に係る分別の区分
スチール缶	缶類
アルミ缶	
無色ガラスびん	無色ガラスびん
茶色ガラスびん	茶色ガラスびん
その他ガラスびん	青・緑色ガラスびん
	黒色ガラスびん
紙パック	紙パック
ダンボール	ダンボール
紙製容器包装	紙製容器包装
ペットボトル	ペットボトル
白色トレイ	プラスチック製容器包装 (白色トレイ含む)
その他プラスチック製容器包装	

8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み
(法第8条第2項第4号)

本組合における分別基準適合物^{注1}及び特定分別基準適合物^{注2}の回収量の見込みを表10～表13に示します。

表10 組合

[単位：t/年]

項目 \ 年度	令和8		令和9		令和10		令和11		令和12	
スチール缶	103.36		102.89		101.86		101.10		100.35	
アルミ缶	171.39		170.61		168.90		167.65		166.41	
無色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	223.07		222.05		219.83		218.21		216.60	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	223.07	0.00	222.05	0.00	219.83	0.00	218.21	0.00	216.60	0.00
茶色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	294.70		293.36		290.42		288.28		286.15	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	294.70	0.00	293.36	0.00	290.42	0.00	288.28	0.00	286.15	0.00
その他ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	87.99		87.58		86.71		86.07		85.43	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	87.99	0.00	87.58	0.00	86.71	0.00	86.07	0.00	85.43	0.00
紙パック	9.16		9.12		9.03		8.96		8.89	
ダンボール	541.65		539.18		533.77		529.83		525.92	
紙製容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	41.87		41.68		41.26		40.95		40.66	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	0.00	41.87	0.00	41.68	0.00	41.26	0.00	40.95	0.00	40.66
ペットボトル	合計		合計		合計		合計		合計	
	260.69		259.50		256.90		255.00		253.12	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	260.69	0.00	259.50	0.00	256.90	0.00	255.00	0.00	253.12	0.00
白色トレイ	合計		合計		合計		合計		合計	
	15.05		14.98		14.82		14.72		14.61	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	15.05	0.00	14.98	0.00	14.82	0.00	14.72	0.00	14.61	0.00
その他プラスチック製容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	461.52		459.42		454.81		451.46		448.12	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	461.52	0.00	459.42	0.00	454.81	0.00	451.46	0.00	448.12	0.00
製品プラスチック	合計		合計		合計		合計		合計	
	-		-		-		-		-	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※注1：分別基準適合物とは、容器包装リサイクル法において、再商品化しうるよう基準が定められており、この基準に適合する容器包装ごみをいう。

※注2：特定分別基準適合物とは、環境省令の定めに基づいて区分された分別基準適合物のこと。

表 1 1 二本松市

〔単位：t/年〕

年度 項目	令和 8		令和 9		令和 1 0		令和 1 1		令和 1 2	
スチール缶	59.12		58.71		57.99		57.42		56.85	
アルミ缶	98.03		97.36		96.15		95.21		94.27	
無色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	127.59		126.71		125.15		123.92		122.70	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	127.59	0.00	126.71	0.00	125.15	0.00	123.92	0.00	122.70	0.00
茶色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	168.56		167.40		165.33		163.72		162.10	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	168.56	0.00	167.40	0.00	165.33	0.00	163.72	0.00	162.10	0.00
その他ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	50.33		49.98		49.36		48.88		48.40	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	50.33	0.00	49.98	0.00	49.36	0.00	48.88	0.00	48.40	0.00
紙パック	5.24		5.20		5.14		5.09		5.04	
ダンボール	309.81		307.68		303.87		300.90		297.93	
紙製容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	23.95		23.78		23.49		23.26		23.03	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	0.00	23.95	0.00	23.78	0.00	23.49	0.00	23.26	0.00	23.03
ペットボトル	合計		合計		合計		合計		合計	
	149.11		148.08		146.25		144.82		143.39	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	149.11	0.00	148.08	0.00	146.25	0.00	144.82	0.00	143.39	0.00
白色トレイ	合計		合計		合計		合計		合計	
	8.61		8.55		8.44		8.36		8.28	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	8.61	0.00	8.55	0.00	8.44	0.00	8.36	0.00	8.28	0.00
その他プラスチック製 容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	263.98		262.16		258.92		256.39		253.86	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	263.98	0.00	262.16	0.00	258.92	0.00	256.39	0.00	253.86	0.00
製品プラスチック	合計		合計		合計		合計		合計	
	-		-		-		-		-	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 1 2 本宮市

〔単位：t/年〕

年度 項目	令和 8		令和 9		令和 1 0		令和 1 1		令和 1 2	
スチール缶	33.84		33.72		33.41		33.19		32.97	
アルミ缶	56.12		55.91		55.40		55.04		54.68	
無色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	73.04		72.77		72.10		71.64		71.17	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	73.04	0.00	72.77	0.00	72.10	0.00	71.64	0.00	71.17	0.00
茶色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	96.50		96.14		95.26		94.64		94.02	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	96.50	0.00	96.14	0.00	95.26	0.00	94.64	0.00	94.02	0.00
その他ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	28.81		28.70		28.44		28.26		28.07	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	28.81	0.00	28.70	0.00	28.44	0.00	28.26	0.00	28.07	0.00
紙パック	3.00		2.99		2.96		2.94		2.92	
ダンボール	177.36		176.70		175.08		173.94		172.80	
紙製容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	13.71		13.66		13.53		13.44		13.36	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	0.00	13.71	0.00	13.66	0.00	13.53	0.00	13.44	0.00	13.36
ペットボトル	合計		合計		合計		合計		合計	
	85.36		85.04		84.26		83.71		83.17	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	85.36	0.00	85.04	0.00	84.26	0.00	83.71	0.00	83.17	0.00
白色トレイ	合計		合計		合計		合計		合計	
	4.93		4.91		4.86		4.83		4.80	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	4.93	0.00	4.91	0.00	4.86	0.00	4.83	0.00	4.80	0.00
その他プラスチック製 容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	151.12		150.56		149.18		148.21		147.24	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	151.12	0.00	150.56	0.00	149.18	0.00	148.21	0.00	147.24	0.00
製品プラスチック	合計		合計		合計		合計		合計	
	-		-		-		-		-	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 1 3 大玉村

〔単位：t/年〕

年度 項目	令和 8		令和 9		令和 1 0		令和 1 1		令和 1 2	
スチール缶	10.40		10.46		10.46		10.49		10.53	
アルミ缶	17.24		17.34		17.35		17.40		17.46	
無色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	22.44		22.57		22.58		22.65		22.73	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	22.44	0.00	22.57	0.00	22.58	0.00	22.65	0.00	22.73	0.00
茶色ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	29.64		29.82		29.83		29.92		30.03	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	29.64	0.00	29.82	0.00	29.83	0.00	29.92	0.00	30.03	0.00
その他ガラスびん	合計		合計		合計		合計		合計	
	8.85		8.9		8.91		8.93		8.96	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	8.85	0.00	8.90	0.00	8.91	0.00	8.93	0.00	8.96	0.00
紙パック	0.92		0.93		0.93		0.93		0.93	
ダンボール	54.48		54.80		54.82		54.99		55.19	
紙製容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	4.21		4.24		4.24		4.25		4.27	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	0.00	4.21	0.00	4.24	0.00	4.24	0.00	4.25	0.00	4.27
ペットボトル	合計		合計		合計		合計		合計	
	26.22		26.38		26.39		26.47		26.56	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	26.22	0.00	26.38	0.00	26.39	0.00	26.47	0.00	26.56	0.00
白色トレイ	合計		合計		合計		合計		合計	
	1.51		1.52		1.52		1.53		1.53	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	1.51	0.00	1.52	0.00	1.52	0.00	1.53	0.00	1.53	0.00
その他プラスチック製 容器包装	合計		合計		合計		合計		合計	
	46.42		46.70		46.71		46.86		47.02	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	46.42	0.00	46.70	0.00	46.71	0.00	46.86	0.00	47.02	0.00
製品プラスチック	合計		合計		合計		合計		合計	
	-		-		-		-		-	
	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理	協会引渡	独自処理
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法

1) 容器包装廃棄物処理フロー

本組合における処理フローを図1に示します。

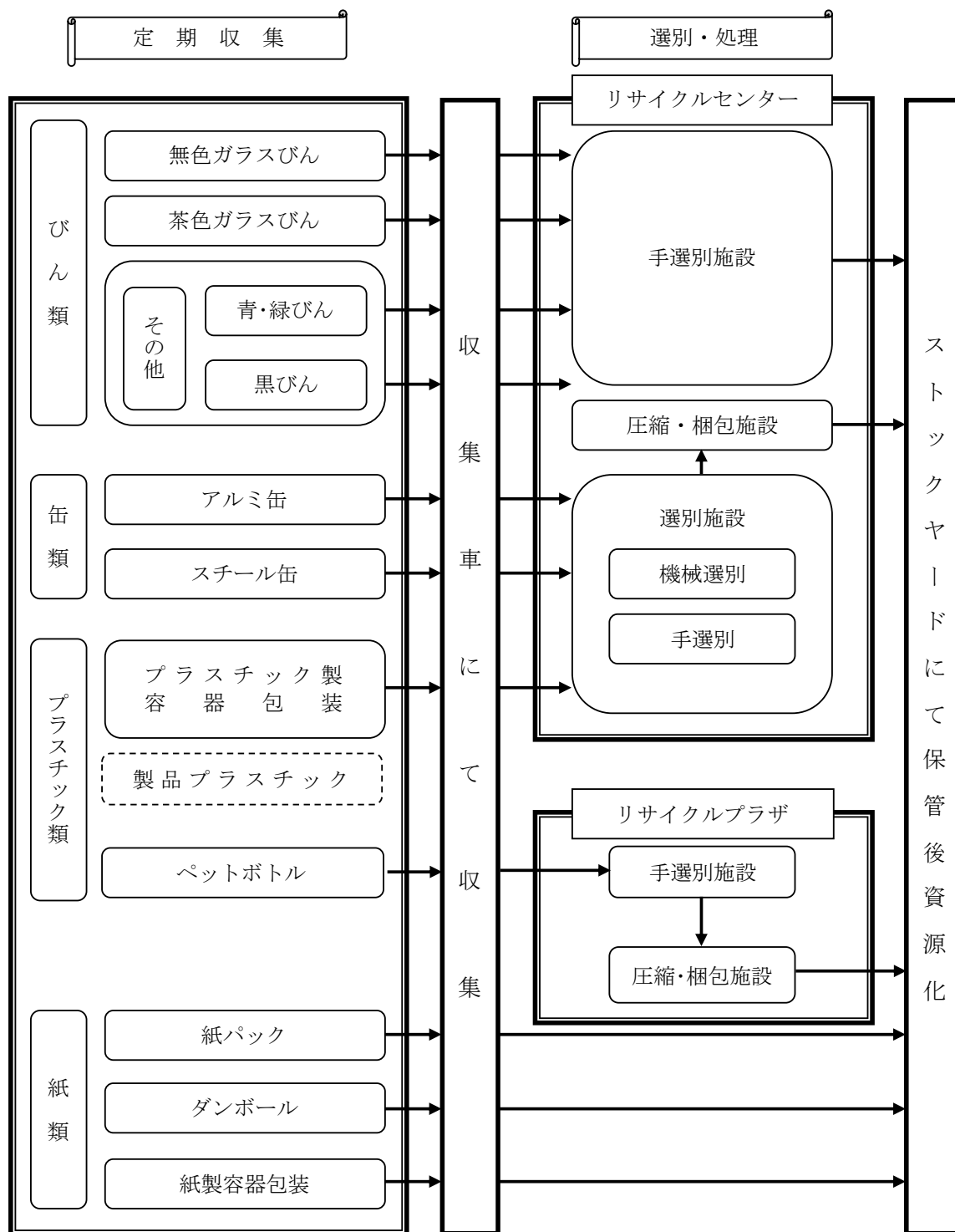


図1 容器包装廃棄物処理フロー

2) 実績値

人口、ごみ排出量等の実績値を表 1 4～表 1 7 に示します。

各市村の分別基準適合物等量は組合平均原単位を各市村の人口に乗じて算出しています。

表 1 4 組合

項目	年度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
	単位					
現住人口	人	92,693	91,835	91,041	90,143	89,155
ごみ排出量	t / 年	32,483.3	28,364.5	29,671.0	30,253.9	29,334.2
スチール缶	t / 年	150.2	133.3	127.6	112.8	102.7
アルミ缶	t / 年	196.1	190.0	188.4	177.0	170.6
無色ガラスびん	t / 年	289.3	266.8	256.0	247.3	222.0
茶色ガラスびん	t / 年	340.2	336.2	328.1	308.4	293.3
その他ガラスびん	t / 年	96.3	113.7	97.6	83.8	87.6
紙パック	t / 年	11.1	9.8	8.5	9.3	9.2
ダンボール	t / 年	756.7	659.1	608.0	562.8	538.7
紙製容器包装	t / 年	67.0	54.0	50.1	44.0	41.6
ペットボトル	t / 年	279.7	262.8	259.2	269.2	259.4
白色トレイ	t / 年	15.4	15.3	15.1	15.4	15.0
プラ製容器包装	t / 年	473.0	470.3	462.4	473.2	459.3
製品プラスチック	t / 年	—	—	—	—	—
スチール缶	g / 人・日	4.4	4.0	3.8	3.4	3.2
アルミ缶	g / 人・日	5.8	5.7	5.7	5.4	5.2
無色ガラスびん	g / 人・日	8.6	8.0	7.7	7.5	6.8
茶色ガラスびん	g / 人・日	10.1	10.0	9.9	9.4	9.0
その他ガラスびん	g / 人・日	2.9	3.4	2.9	2.5	2.7
紙パック	g / 人・日	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
ダンボール	g / 人・日	22.4	19.7	18.3	17.1	16.6
紙製容器包装	g / 人・日	2.0	1.6	1.5	1.3	1.3
ペットボトル	g / 人・日	8.3	7.8	7.8	8.2	8.0
白色トレイ	g / 人・日	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
プラ製容器包装	g / 人・日	14.0	14.0	13.9	14.3	14.1
製品プラスチック	g / 人・日	—	—	—	—	—

表 1 5 二本松市

項目	年度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
	単位					
現住人口	人	53,557	52,840	52,091	51,320	50,527
スチール缶	t / 年	86.8	76.7	73.0	64.2	58.2
アルミ缶	t / 年	113.3	109.3	107.8	100.7	96.7
無色ガラスびん	t / 年	167.1	153.5	146.5	140.8	125.9
茶色ガラスびん	t / 年	196.6	193.4	187.8	175.5	166.3
その他ガラスびん	t / 年	55.6	65.5	55.8	47.8	49.6
紙パック	t / 年	6.4	5.7	4.8	5.3	5.3
ダンボール	t / 年	437.2	379.3	347.8	320.4	305.3
紙製容器包装	t / 年	38.7	31.1	28.6	25.1	23.5
ペットボトル	t / 年	161.6	151.2	148.3	153.2	147.0
白色トレイ	t / 年	8.9	8.8	8.7	8.7	8.5
プラ製容器包装	t / 年	273.3	270.6	264.5	269.4	260.3
製品プラスチック	t / 年	—	—	—	—	—

表 1 6 本宮市

項目	年度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
	単位					
現住人口	人	30,236	30,121	30,061	29,930	29,811
スチール缶	t / 年	49.00	43.76	42.13	37.46	34.38
アルミ缶	t / 年	63.90	62.34	62.21	58.83	57.02
無色ガラスびん	t / 年	94.36	87.51	84.49	82.16	74.21
茶色ガラスびん	t / 年	110.91	110.27	108.30	102.42	98.04
その他ガラスびん	t / 年	31.45	37.27	32.26	27.82	29.27
紙パック	t / 年	3.64	3.19	2.85	3.07	3.05
ダンボール	t / 年	246.88	216.15	200.79	186.88	180.19
紙製容器包装	t / 年	21.85	17.70	16.57	14.57	13.93
ペットボトル	t / 年	91.27	86.19	85.58	89.39	86.72
白色トレイ	t / 年	5.08	5.06	4.94	5.15	5.01
プラ製容器包装	t / 年	154.29	154.25	152.73	157.09	153.53
製品プラスチック	t / 年	—	—	—	—	—

表 1 7 大玉村

	年度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6
項目	単位					
現住人口	人	8,900	8,874	8,889	8,893	8,817
スチール缶	t / 年	14.42	12.89	12.46	11.13	10.17
アルミ缶	t / 年	18.81	18.37	18.40	17.48	16.86
無色ガラスびん	t / 年	27.77	25.78	24.98	24.41	21.95
茶色ガラスびん	t / 年	32.65	32.49	32.02	30.43	29.00
その他ガラスびん	t / 年	9.26	10.98	9.54	8.27	8.66
紙パック	t / 年	1.07	0.94	0.84	0.91	0.90
ダンボール	t / 年	72.67	63.68	59.37	55.53	53.29
紙製容器包装	t / 年	6.43	5.21	4.90	4.33	4.12
ペットボトル	t / 年	26.87	25.39	25.31	26.56	25.65
白色トレイ	t / 年	1.49	1.49	1.46	1.53	1.48
プラ製容器包装	t / 年	45.41	45.44	45.16	46.67	45.41
製品プラスチック	t / 年	—	—	—	—	—

3) 計画人口

計画人口は、二本松市と本宮市は総合計画、大玉村は人口ビジョンで予測されている人口に、策定以降の人口の変化を補正した数値を採用値とします。

二本松市では令和12年までの単年度予測、本宮市は令和42年までの5ヶ年毎の予測、大玉村では令和12年までの5ヶ年毎の予測と、令和22年、令和42年の予測をしており、予測のない期間については、構成市村の予測値を基に、実績値と目標人口を用いて直線補完にて求めています。その後、計画策定から数年経過している計画について、予測と実績を比較し、その変化の割合を求め、変動係数としたものを、各年の予測に乗じることで補正を行っています。その合計が組合での現住人口設定値となります。現住人口は、大玉村が増加傾向であるものの、組合合計では減少傾向を示しています。

表18 人口予測

〔単位：人〕

項目	年度	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
組合		89,612	88,961	88,309	87,658	87,010
二本松市		51,256	50,765	50,273	49,782	49,291
本宮市		29,343	29,154	28,966	28,777	28,589
大玉村		9,014	9,042	9,070	9,098	9,130

出典) 二本松市総合計画（令和2年12月）

本宮市第2次総合計画【後期】（令和6年3月）

大玉村人口ビジョン改定版（令和4年3月）

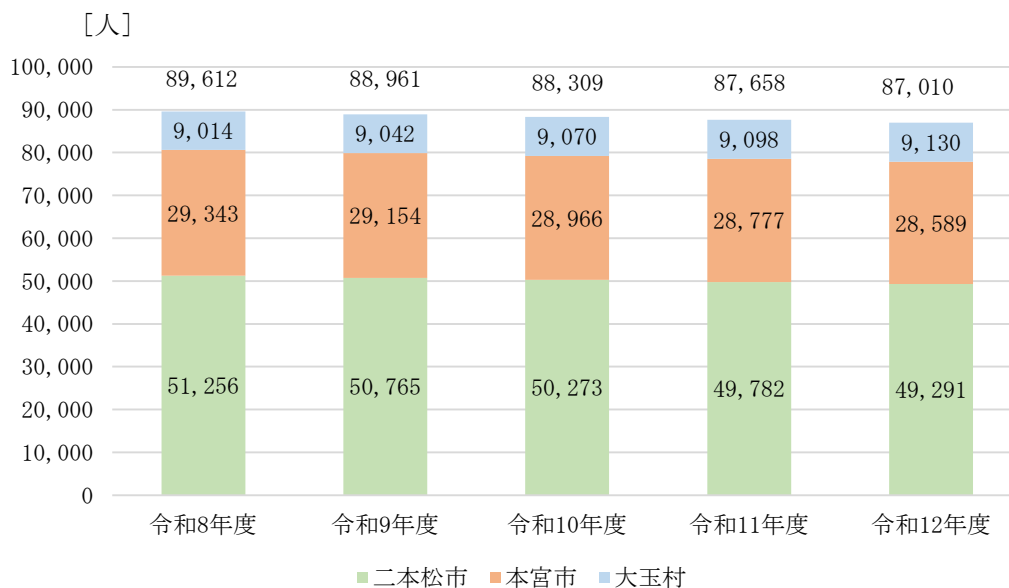


図2 人口予測

10 分別収集を実施する者に関する基本的な事項 (第8条第2項第5号)

本組合の分別収集、保管の実施者を表19に示します。

表19 分別収集・保管の実施者

容器包装廃棄物・製品プラスチックの種類	収集に係る分別の区分	収集・運搬段階	選別・保管段階
スチール缶	缶類	委託業者による 定期収集	組合
アルミ缶			
無色ガラスびん	無色ガラスびん		
茶色ガラスびん	茶色ガラスびん		
その他ガラスびん	青・緑色ガラスびん		
	黒色ガラスびん		
紙パック	紙パック		
ダンボール	ダンボール		
紙製容器包装	紙製容器包装		
ペットボトル	ペットボトル		
白色トレイ	プラスチック製容器包装 (白色トレイを含む)		
その他のプラスチック製 容器包装			
製品プラスチック	—	—	—

1 1 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項

(法第8条第2項第6号)

本組合の分別収集の用に供する施設等について表20に示します。

缶（スチール、アルミ）、びん（無色、茶色、その他）、紙パック、ダンボール、紙製容器包装、プラスチック製容器包装（白色トレイ含む）は、リサイクルセンターで選別し、圧縮及び保管等を行います。ペットボトルは、リサイクルプラザで、選別・圧縮・梱包・保管を行います。

表20 分別収集の用に供する施設等

容器包装廃棄物・製品プラスチックの種類	収集に係る分別の区分	収集容器	収集車	施設の種類及び処理能力	
スチール缶	缶類	コンテナ	平ボディ 2t 車	リサイクル センター 機械選別 圧縮 手選別 保管施設	スチール：2t/日 (5h) アルミ：1t/日 (5h)
アルミ缶			平ボディ 2t 車		
無色ガラスびん	無色ガラスびん	コンテナ	平ボディ 2t 車		
茶色ガラスびん	茶色ガラスびん		平ボディ 2t 車		
その他ガラスびん	青・緑色ガラスびん		平ボディ 2t 車		
	黒色ガラスびん		平ボディ 2t 車		
紙パック	紙パック	ひもで十字 に束ねる	平ボディ 2t 車		
ダンボール	ダンボール		平ボディ 2t 車		
紙製容器包装	紙製容器包装		平ボディ 2t 車		
ペットボトル	ペットボトル	コンテナ	平ボディ 3t 車	リサイクル プラザ 手選別 圧縮梱包 保管施設	1.5t/日 (5h)
白色トレイ	プラスチック製 容器包装 (白色トレイを含む)	ごみ指定袋	平ボディ 2t 車	リサイクル センター 手選別 圧縮梱包 保管施設	6t/日 (5h)
その他のプラスチック製容器包装					
製品プラスチック	—	—	—	—	—

1 2 その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項 (第8条第2項第7号)

本組合における容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項を表2-1～表2-2に示します。

表2-1 各種取り組み及び処理方法

施策	具体的な内容
①リサイクルセンターの供給開始	開始時期：平成3年度～（継続） 実施方法：リサイクルセンター（空缶選別圧縮ライン、ビンストックヤード）の供給を開始しています。
②紙類の処理	開始時期：平成6年度～（継続） 実施方法：紙類ストックヤード（保管施設）の供用を開始し、紙類の分別ストックを開始しています。
③分別収集徹底のための取り組み	開始時期：平成9年度～（継続） 実施方法：容器包装廃棄物の分別収集精度を向上させるため、以下の方策を積極的に推進しています。 ・使い捨てびんの確実な色選別 ・行政指導型から自治会中心の住民主導への移行 ・集団回収の推進 ・再生品の積極的な利用
④容器包装廃棄物の品質維持のための取り組み	開始時期：平成9年度～（継続） 実施方法：資源ごみ排出時の品質保持の取り組みとして以下の活動を実施しています。 ・びん類、缶類は洗って出す。 ・びん類はキャップを取り、ペットボトルはキャップとラベルを取り、缶類はつぶさず出す。 ・色がまぎらわしいびんや化粧品等のびんは、不燃ごみとして出す。
⑤ペットボトルの処理	開始時期：平成15年度～（継続） 実施方法：リサイクルプラザにおいて、ペットボトルの選別・圧縮・梱包・保管を行っています。
⑥紙製容器包装の処理	開始時期：平成18年度～（継続） 実施方法：リサイクルセンター保管施設にて紙製容器包装の保管を行っています。

表 2 2 各種取り組み及び処理方法

施策	具体的な内容
⑦プラスチック製 容器包装の分別	平成 1 9 年度～（継続） 開始時期：ごみ指定袋を 2 種から 5 種へ細分化し、このうちプラスチック類については、プラスチック製容器包装とビニール・プラスチックごみに分別して収集を行っています。 実施方法：
⑧缶類、プラスチック製容器包装の 処理	平成 2 2 年度～（継続） 開始時期：リサイクルセンターで選別・圧縮・梱包処理を行い、容器包装リサイクル法の分別基準の適合に努めています。 実施方法：
⑨本計画事後評価	令和 1 0 年度 開始時期：本組合では、分別収集計画記載事項の実績を確認、記録し、3 年後の見直し時には、その記録を基に事後評価を行います。 実施方法：

資料編

1 3 資料編

1) ごみ排出量（集団回収量を除く）

ごみ排出量（集団回収量を除く）は、一般廃棄物処理基本計画の減量化目標及び地域循環型社会形成推進地域計画による見直し値を踏まえ、「3）計画人口（P 18）」を用いて算出しました。

2) 容器包装廃棄物の量

品目ごとの容器包装廃棄物の量は、ごみ排出量（集団回収量を除く）に、市町村分別収集計画策定の手引き（十一訂版）に示されているごみ排出量に占める品目ごとの容器包装廃棄物比率（ α ）を乗じて算出しました。

ごみ排出量 (集団回収量を除く)	×	容器包装・製品プラスチック算定対象廃棄物量に 占める容器包装・製品プラスチック 廃棄物の比率 (α)	=	容器包装廃棄物・製品プラスチック 廃棄物排出量 の見込み
---------------------	---	--	---	------------------------------------

ただし、この算出方法では、容器包装廃棄物の排出量が、特定分別基準適合物等の回収量（表 1 0～表 1 3）を下回るものもあるため、特定分別基準適合物等の回収量と同値とします。

3) 特定分別基準適合物等の推計

特定分別基準適合物等の見込みは、令和 2 年度から令和 6 年度の収集実績に基づき、品目ごとに 1 人 1 日当たりの排出量から推計し、その採用値に計画人口、年間日数を乗じて算出します。

【特定分別基準適合物等の量を算出する際の計算式】

品目ごと 1 人 1 日 当たり排出量 の採用値 (各市村)	×	計画人口 (各市村)	×	年間日数	×	1 0 ⁶	=	特定分別基準適合 物等の年間量 (各市村)
---	---	---------------	---	------	---	------------------	---	-----------------------------

※組合全体は各市村の合計値とする。

4) 各種予測を行う上での基本方針

推計予測は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法です。

推計式を採用する場合、増加や減少の幅が著しく大きい式や、減少により値が“0”となるような実現性の低い式については、過去の実績と相関が認められないと判断し、別途過去5か年分の平均や直近実績値を用いることとします。

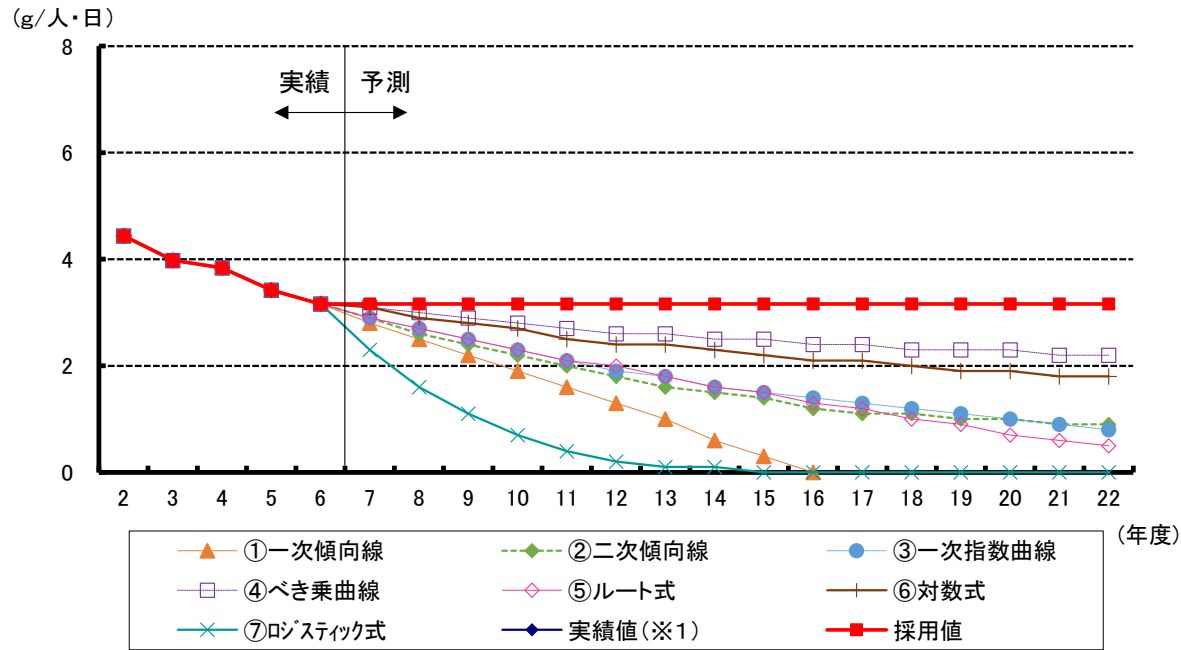
- ① 一次傾向線 $y=a+b \cdot x$
- ② 二次傾向線 $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$
- ③ 一次指数曲線 $y=a \cdot bx$
- ④ べき乗曲線 $y=a \cdot xb$
- ⑤ ルート式 $y=a+b \cdot \sqrt{x}$
- ⑥ 対数式 $y=a+b \cdot \log x$
- ⑦ ロジスティック式 $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$
- ⑧ 直近推移式 直近実績値が継続する
- ⑨ 実績平均式 過去5か年分実績の平均値が継続する

(1) スチール缶の推計結果

スチール缶の採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績が減少傾向であることから、いずれの式も減少傾向で推移しています。全ての推計式の相関係数は0.9以上と高い数値を示していますが、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は目標年次に約半数となる予測であるため、実現性の低い値であると考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	4.4								
2021	3	4.0								
2022	4	3.8								
2023	5	3.4								
2024	6	3.2								
2025	7		2.8	2.9	2.9	3.1	2.9	3.1	2.3	3.2
2026	8		2.5	2.6	2.7	3.0	2.7	2.9	1.6	3.2
2027	9		2.2	2.4	2.5	2.9	2.5	2.8	1.1	3.2
2028	10		1.9	2.2	2.3	2.8	2.3	2.7	0.7	3.2
2029	11		1.6	2.0	2.1	2.7	2.1	2.5	0.4	3.2
2030	12		1.3	1.8	1.9	2.6	2.0	2.4	0.2	3.2
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	5.01600	5.13600	5.21869	5.54459	6.14364	5.25583	0.01830	
		定数 b	-0.31200	-0.38057	0.92018	-0.29889	-1.20814	-2.60353	-0.57371	
		定数 c		0.00857						
		収束値 k							5	
		相関係数	0.99036	0.99088	0.99082	0.97833	0.99046	0.98462	0.96299	
		相関順位	4	1	2	6	3	5	7	
		数値順位	7	3	4	1	5	2	6	

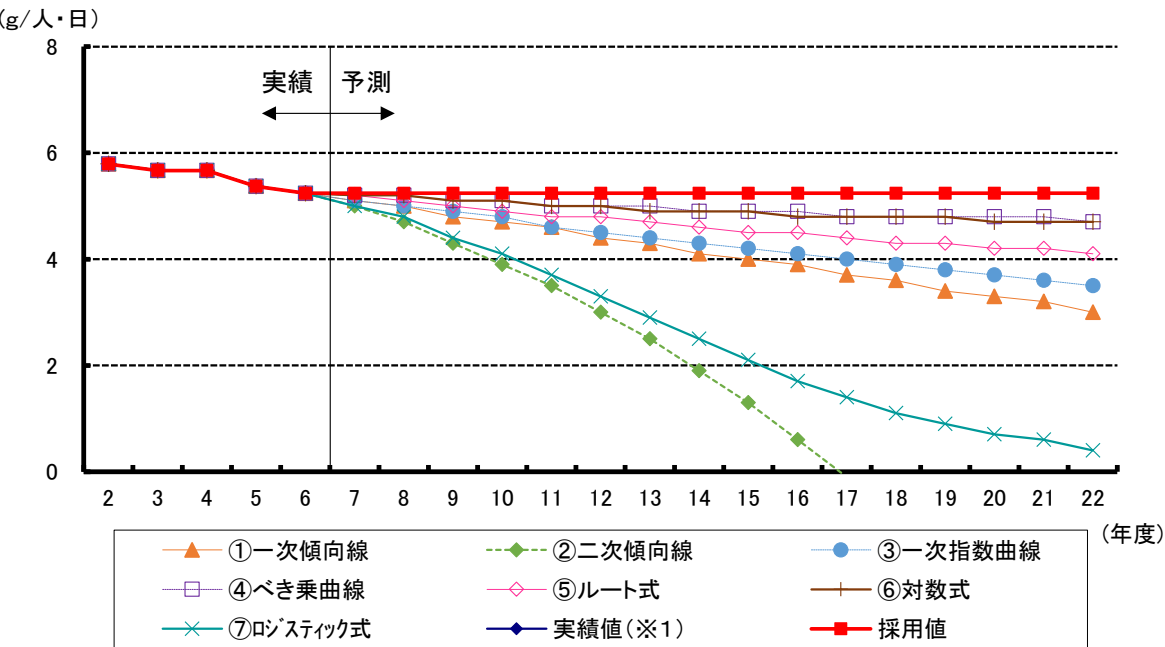


(2) アルミ缶の推計結果

アルミ缶の採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は令和3年度から令和4年度が横ばいとなっていますが、減少傾向で推移していることから、いずれの式も減少傾向で推移しています。全ての推計式の相関係数は0.9以上と高い数値を示していますが、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は、目標年次に約半数となる予測であるため、実現性の低い値であると考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	5.8								
2021	3	5.7								
2022	4	5.7								
2023	5	5.4								
2024	6	5.2								
2025	7		5.1	5.0	5.1	5.2	5.2	5.2	5.0	5.2
2026	8		5.0	4.7	5.0	5.2	5.1	5.2	4.8	5.2
2027	9		4.8	4.3	4.9	5.1	5.0	5.1	4.4	5.2
2028	10		4.7	3.9	4.8	5.1	4.9	5.1	4.1	5.2
2029	11		4.6	3.5	4.6	5.0	4.8	5.0	3.7	5.2
2030	12		4.4	3.0	4.5	5.0	4.8	5.0	3.3	5.2
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	6.10800	5.78800	6.13693	6.22805	6.59422	6.19044	0.03239	
		定数 b	-0.14000	0.04286	0.97492	-0.08841	-0.53206	-1.12419	-0.27293	
		定数 c		-0.02286						
		収束値 k							6	
		相関係数	0.95506	0.97272	0.95218	0.90894	0.93744	0.91371	0.97061	
		相関順位	3	1	4	7	5	6	2	
		数値順位	5	7	4	1	3	1	6	

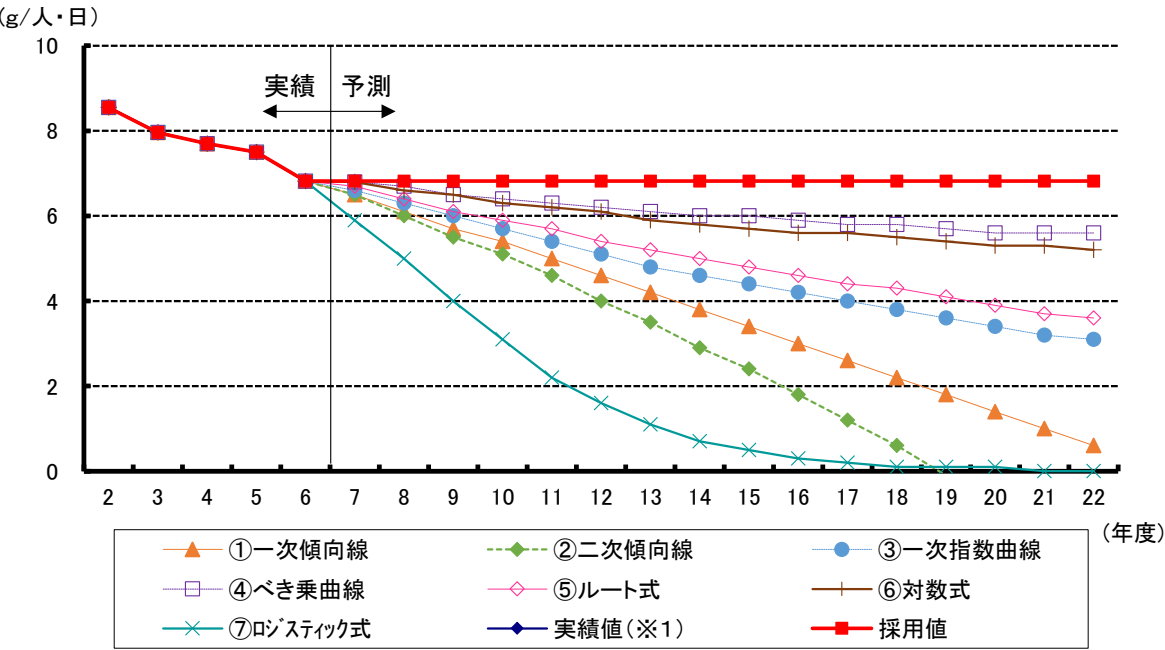


(3) 無色ガラスびんの推計結果

無色ガラスびんの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績が減少傾向であることから、いずれの式も減少傾向で推移しています。全ての推計式の相関係数は0.9以上と高い数値を示していますが、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は大きく減少する傾向であるため、実現性の低い値であると考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	8.6								
2021	3	8.0								
2022	4	7.7								
2023	5	7.5								
2024	6	6.8								
2025	7		6.5	6.5	6.6	6.8	6.7	6.8	5.9	6.8
2026	8		6.1	6.0	6.3	6.7	6.4	6.6	5.0	6.8
2027	9		5.7	5.5	6.0	6.5	6.1	6.5	4.0	6.8
2028	10		5.4	5.1	5.7	6.4	5.9	6.3	3.1	6.8
2029	11		5.0	4.6	5.4	6.3	5.7	6.2	2.2	6.8
2030	12		4.6	4.0	5.1	6.2	5.4	6.1	1.6	6.8
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	9.27400	9.15400	9.43038	9.78037	10.68137	9.56508	0.02340	
		定数 b	-0.39200	-0.32343	0.95012	-0.18323	-1.51313	-3.25318	-0.44021	
		定数 c		-0.00857						
		収束値 k							9	
		相関係数	0.97868	0.97901	0.97757	0.96349	0.97569	0.96767	0.96902	
		相関順位	2	1	3	7	4	6	5	
		数値順位	5	7	4	1	3	2	6	

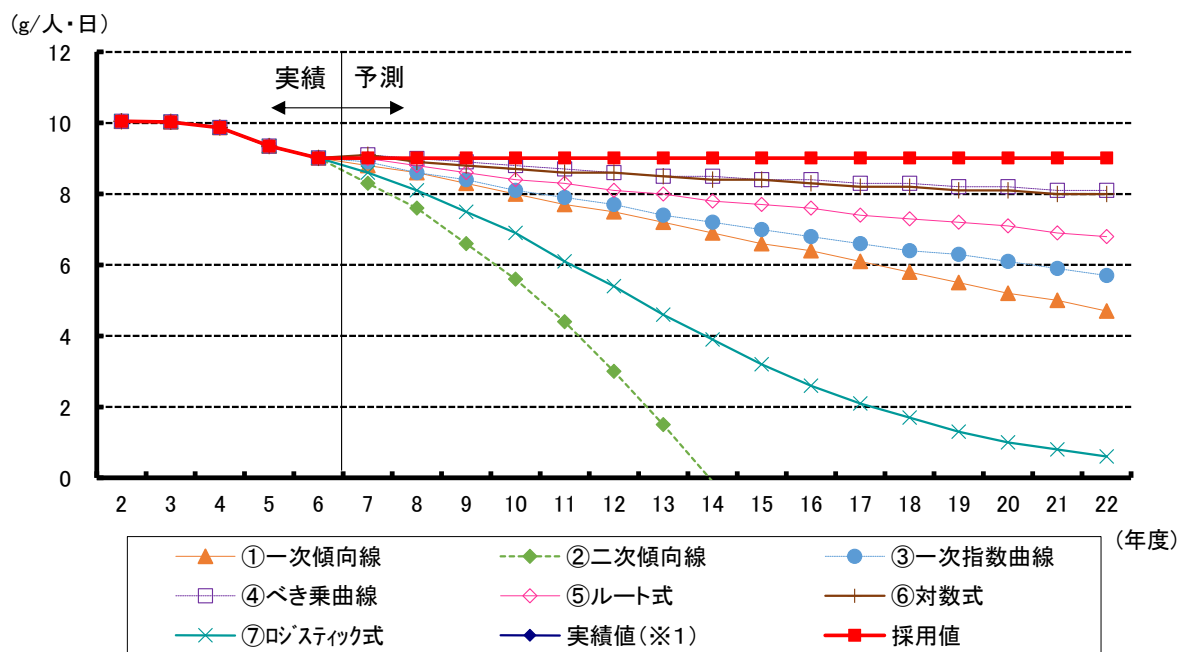


(4) 茶色ガラスびんの推計結果

茶色ガラスびんの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績が減少傾向であることから、いずれの式も減少傾向で推移しています。全ての推計式の相関係数が0.8～0.9と高い数値を示していますが、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は大きく減少する傾向であるため、実現性の低い値であると考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	10.1								
2021	3	10.0								
2022	4	9.9								
2023	5	9.4								
2024	6	9.0								
2025	7		8.8	8.3	8.9	9.1	9.0	9.1	8.6	9.0
2026	8		8.6	7.6	8.6	9.0	8.8	8.9	8.1	9.0
2027	9		8.3	6.6	8.4	8.9	8.6	8.8	7.5	9.0
2028	10		8.0	5.6	8.1	8.8	8.4	8.7	6.9	9.0
2029	11		7.7	4.4	7.9	8.7	8.3	8.6	6.1	9.0
2030	12		7.5	3.0	7.7	8.6	8.1	8.6	5.4	9.0
備考		推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	
		定数 a	10.76600	9.76600	10.83460	10.98682	11.70370	10.90126	0.03293	
		定数 b	-0.27600	0.29543	0.97154	-0.09836	-1.03831	-2.16856	-0.28366	
		定数 c		-0.07143						
		収束値 k							11	
		相関係数	0.94574	0.98908	0.94064	0.87802	0.91890	0.88532	0.97491	
		相関順位	3	1	4	7	5	6	2	
		数値順位	5	7	4	1	3	2	6	



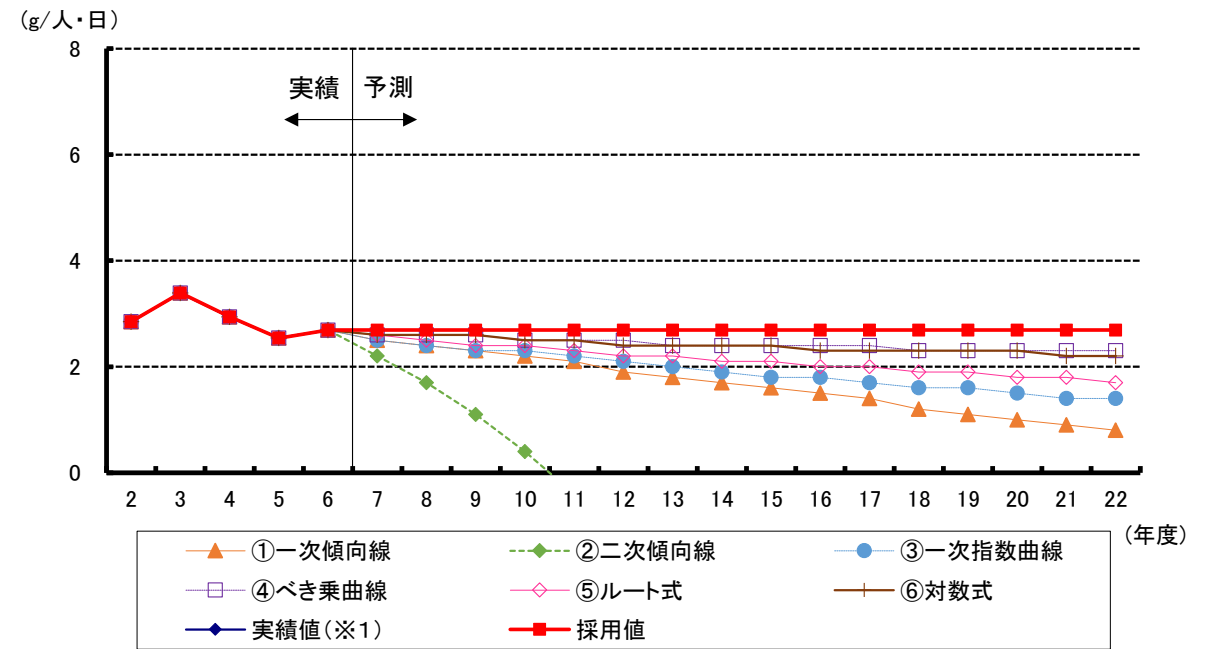
(5) その他ガラスびんの推計結果

その他ガラスびんの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は令和3年度から令和5年度にかけて減少していますが、令和6年度に増加に転じています。推計結果について、全ての推計において、相関係数が低い数値を示しています。

また、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は0以下の数値となる予測であるため、実現性の低い値であると考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	2.9								
2021	3	3.4								
2022	4	2.9								
2023	5	2.5								
2024	6	2.7								
2025	7		2.5	2.2	2.5	2.6	2.6	2.6	-	2.7
2026	8		2.4	1.7	2.4	2.6	2.5	2.6	-	2.7
2027	9		2.3	1.1	2.3	2.6	2.4	2.6	-	2.7
2028	10		2.2	0.4	2.3	2.5	2.4	2.5	-	2.7
2029	11		2.1	-0.4	2.2	2.5	2.3	2.5	-	2.7
2030	12		1.9	-1.3	2.1	2.5	2.2	2.4	-	2.7
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	3
		定数 a	3.35000	2.62000	3.37144	3.39707	3.72039	3.36828	-	
		定数 b	-0.11700	0.30014	0.96038	-0.12863	-0.42637	-0.85093	-	
		定数 c		-0.05214						
		収束値 k								
		相関係数	0.57345	0.64829	0.56581	0.48462	0.53972	0.49690	-	
		相関順位	2	1	3	6	4	5	-	
		数値順位	5	6	4	1	3	2	-	

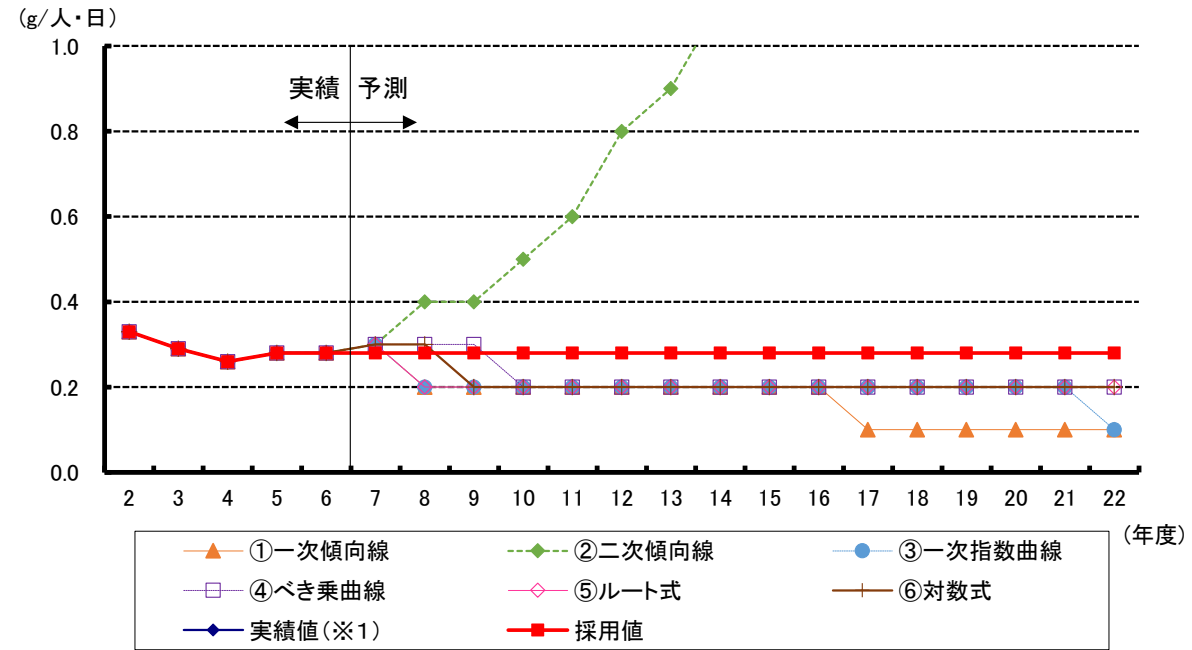


(6) 紙パックの推計結果

紙パックの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績はほぼ横ばい傾向で推移しており、推計結果についても増加するものと減少するものどちらの結果もある状態です。全ての推計式の相関係数が0.6～0.9とばらつきがあるものの、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は大きく増加する予測であるため、実現性が低いと数値と考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	0.3								
2021	3	0.3								
2022	4	0.3								
2023	5	0.3								
2024	6	0.3								
2025	7		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-	0.3
2026	8		0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	-	0.3
2027	9		0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	-	0.3
2028	10		0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.3
2029	11		0.2	0.6	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.3
2030	12		0.2	0.8	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.3
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	0.33200	0.46200	0.33206	0.35114	0.37827	0.34870	-	
		定数 b	-0.01100	-0.08529	0.96428	-0.15301	-0.04591	-0.10622	-	
		定数 c		0.00929						
		収束値 k							0	
		相関係数	0.67193	0.94969	0.68626	0.78684	0.72428	0.77301	-	
		相関順位	6	1	5	2	4	3	-	
		数値順位	5	1	5	2	2	2	-	

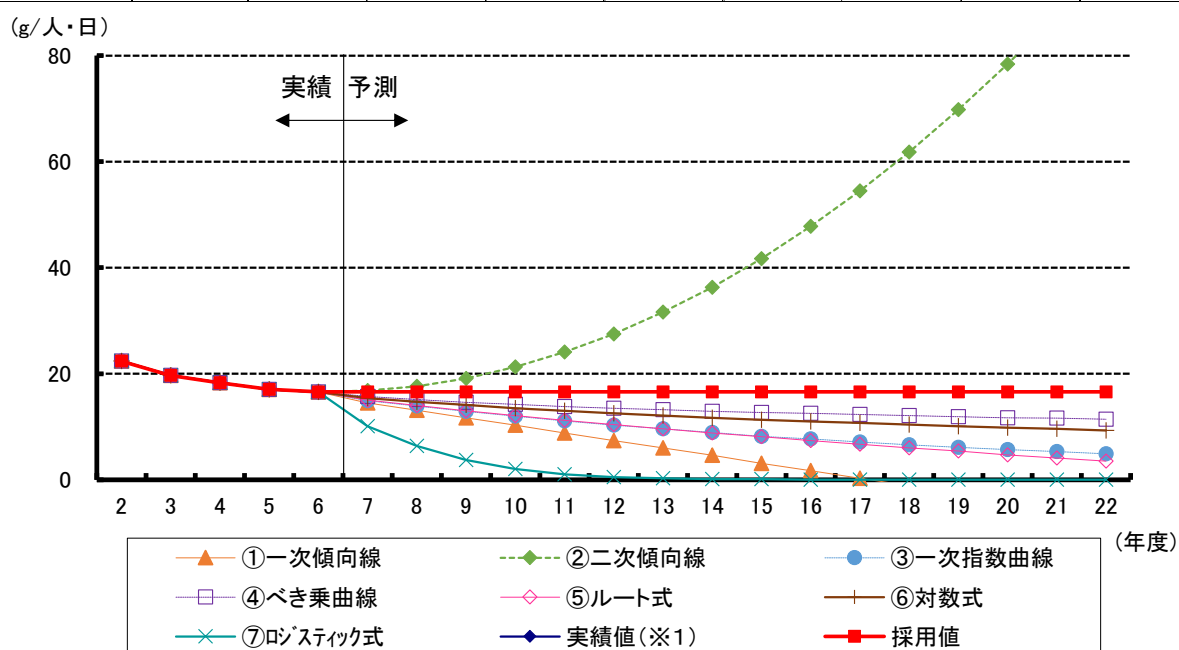


(7) ダンボールの推計結果

ダンボールの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は減少傾向で推移していますが、直近年度における減少がわずかなことから、推計結果は増加するものと減少するものどちらの結果もある状態です。全ての推計式の相関係数が0.9と相関がある値を示していますが、最も相関係数の高い傾向を示す二次傾向線は大きく増加する予測であるため、実現性が低いと数値と考えられます。推計採用に該当しないものとし、今後も同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	22.4								
2021	3	19.7								
2022	4	18.3								
2023	5	17.1								
2024	6	16.6								
2025	7		14.5	16.8	14.9	15.7	15.0	15.4	10.1	16.6
2026	8		13.1	17.6	13.9	15.1	14.0	14.7	6.4	16.6
2027	9		11.7	19.1	12.9	14.6	13.0	14.1	3.7	16.6
2028	10		10.3	21.3	12.0	14.2	12.1	13.5	2.0	16.6
2029	11		8.8	24.1	11.1	13.8	11.2	13.0	1.0	16.6
2030	12		7.4	27.5	10.3	13.5	10.4	12.5	0.5	16.6
備考		推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \sqrt{x}$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	
		定数 a	24.47800	29.01800	25.14631	26.90753	29.81781	25.82207	0.00859	
		定数 b	-1.42200	-4.01629	0.92836	-0.27740	-5.60822	-12.30531	-0.71181	
		定数 c		0.32429						
		収束値 k							23	
		相関係数	0.96356	0.99802	0.97409	0.99722	0.98149	0.99343	0.86373	
		相関順位	6	1	5	2	4	3	7	
		数値順位	7	1	4	2	5	3	6	

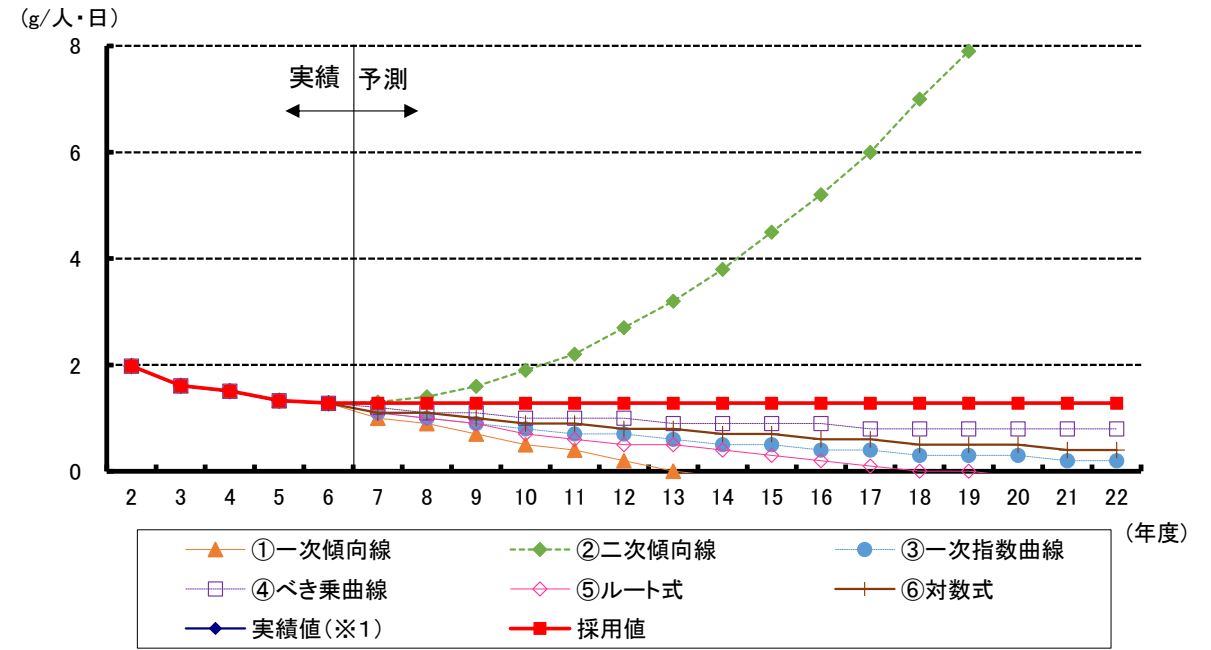


(8) 紙製容器包装の推計結果

紙製容器包装の採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は減少傾向で推移していますが、直近年度における減少がわずかなことから、推計結果は増加するものと減少するものどちらの結果もある状態です。全ての推計式の相関係数が0.9と相関がある値を示していますが、直近年度が横ばい傾向であることから、今後も減少していくことは考え難いため、横ばい傾向が続くものと想定し、同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	2.0								
2021	3	1.6								
2022	4	1.5								
2023	5	1.3								
2024	6	1.3								
2025	7		1.0	1.3	1.1	1.2	1.1	1.1	-	1.3
2026	8		0.9	1.4	1.0	1.1	1.0	1.1	-	1.3
2027	9		0.7	1.6	0.9	1.1	0.9	1.0	-	1.3
2028	10		0.5	1.9	0.8	1.0	0.7	0.9	-	1.3
2029	11		0.4	2.2	0.7	1.0	0.6	0.9	-	1.3
2030	12		0.2	2.7	0.7	1.0	0.5	0.8	-	1.3
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	2.21400	2.77400	2.33056	2.56702	2.84673	2.37547	-	
		定数 b	-0.16800	-0.48800	0.89911	-0.39674	-0.66353	-1.45847	-	
		定数 c		0.04000						
		収束値 k							2	
		相関係数	0.95252	0.98959	0.96764	0.99158	0.97163	0.98521	-	
		相関順位	6	2	5	1	4	3	-	
		数値順位	6	1	4	2	5	3	-	

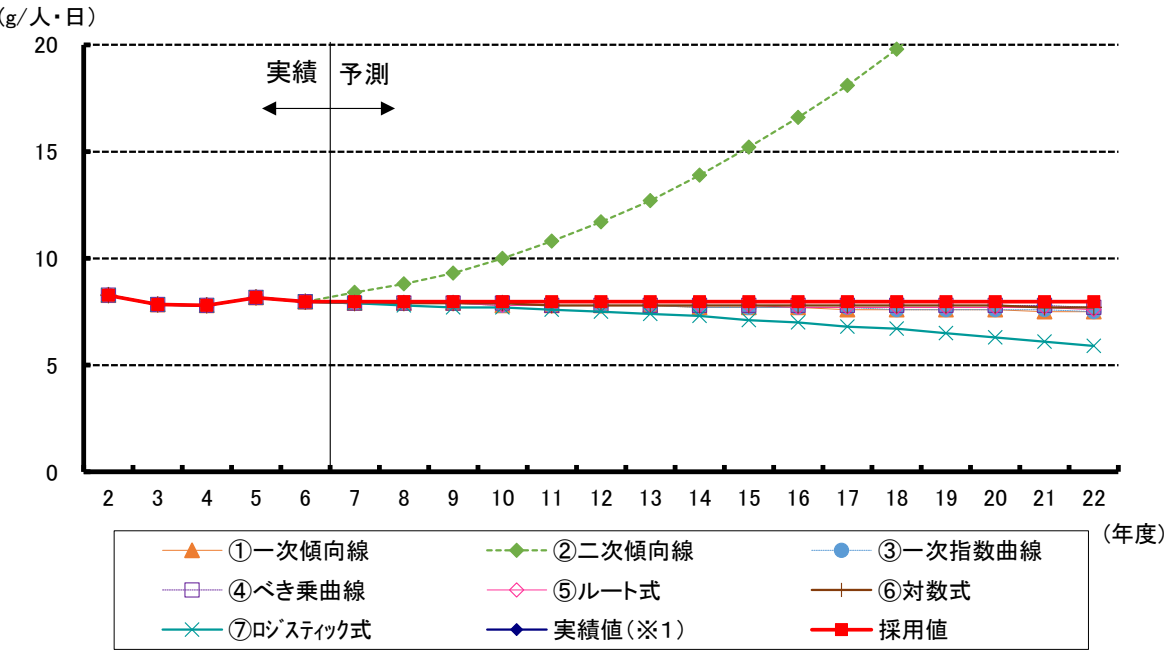


(9) ペットボトルの推計結果

ペットボトルの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は横ばいで推移しており、全ての推計式において殆ど相関がない値を示しています。今後も実績が大きな増加や減少しないものとし、同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	8.3								
2021	3	7.8								
2022	4	7.8								
2023	5	8.2								
2024	6	8.0								
2025	7		7.9	8.4	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	8.0
2026	8		7.9	8.8	7.9	7.9	7.9	7.9	7.8	8.0
2027	9		7.9	9.3	7.9	7.9	7.9	7.9	7.7	8.0
2028	10		7.8	10.0	7.8	7.9	7.8	7.9	7.7	8.0
2029	11		7.8	10.8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6	8.0
2030	12		7.8	11.7	7.8	7.8	7.8	7.8	7.5	8.0
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	8.12000	9.00000	8.11523	8.20489	8.27230	8.20865	0.03262	
		定数 b	-0.02800	-0.53086	0.99662	-0.01865	-0.13441	-0.35112	-0.11697	
		定数 c		0.06286						
		収束値 k							8	
		相関係数	0.21819	0.61927	0.21935	0.32808	0.27052	0.32599	0.18326	
		相関順位	6	1	5	2	4	3	7	
		数値順位	5	1	5	2	4	2	7	

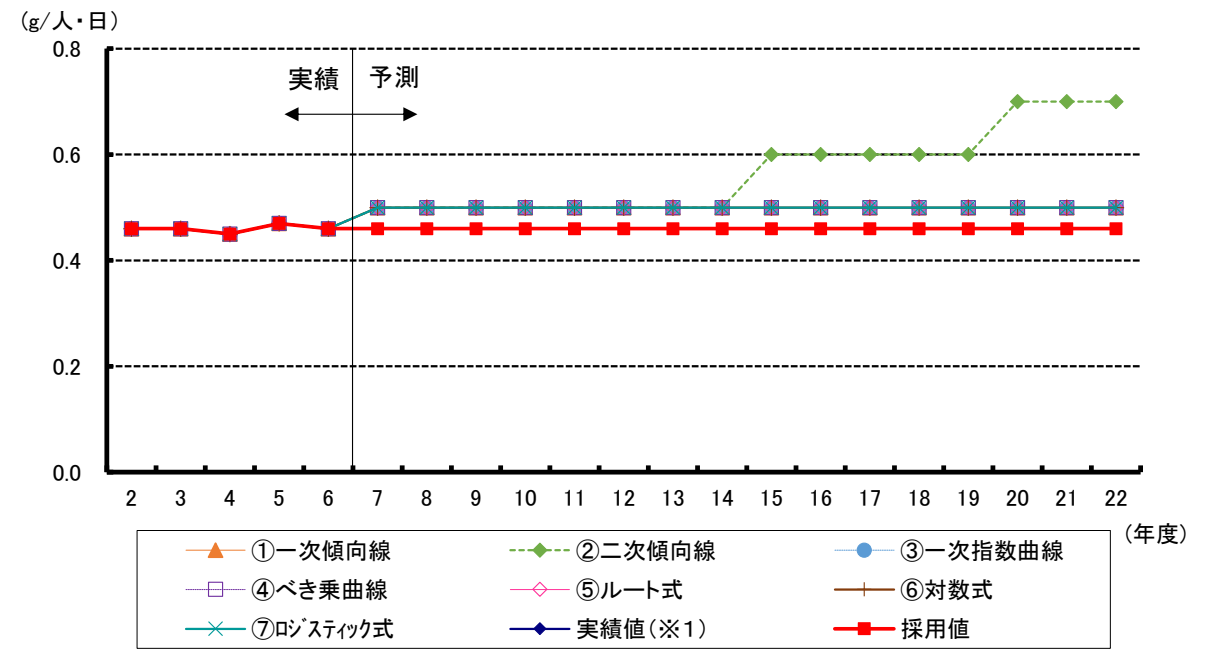


(10) 白色トレイの推計結果

白色トレイの採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は横ばいで推移しており、全ての推計式において殆ど相関がない値を示しています。今後も実績が大きな増加や減少しないものとし、同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	0.5								
2021	3	0.5								
2022	4	0.5								
2023	5	0.5								
2024	6	0.5								
2025	7		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2026	8		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2027	9		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2028	10		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2029	11		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2030	12		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	0.45600	0.46600	0.45602	0.45614	0.45304	0.45610	0.12185	
		定数 b	0.00100	-0.00471	1.00215	0.00633	0.00354	0.00683	0.02381	
		定数 c		0.00071						
		収束値 k							1	
		相関係数	0.22361	0.29277	0.22385	0.18218	0.20438	0.18188	0.22144	
		数値順位	3	1	2	6	5	7	4	

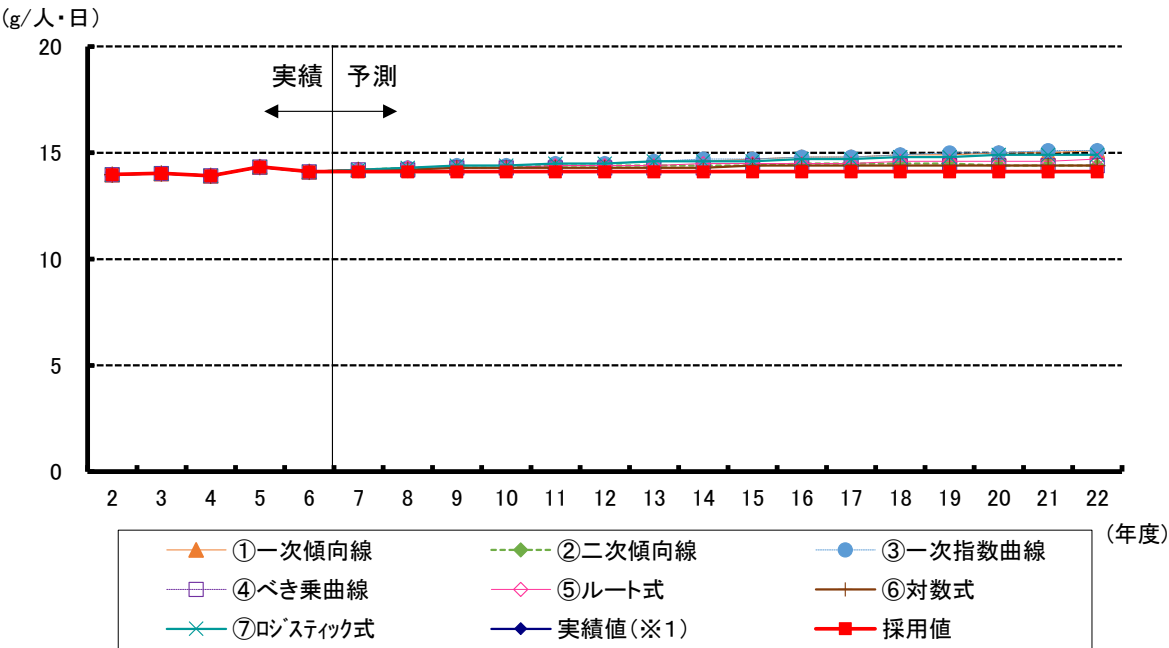


(1 1) プラスチック製容器包装の推計結果

プラスチック製容器包装の採用値と推計結果を次に示します。

過去5年間の実績は横ばいで推移しており、全ての回帰式の相関係数が0.5を示しています。どの推計式も増加傾向で推移していますが、直近年度である令和6年度は減少していることから、今後、実績が増加することは考え難いため、同様の推移とする直近実績値を採用します。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦)		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	14.0								
2021	3	14.0								
2022	4	13.9								
2023	5	14.3								
2024	6	14.1								
2025	7		14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.1
2026	8		14.3	14.3	14.3	14.2	14.3	14.2	14.3	14.1
2027	9		14.4	14.3	14.4	14.3	14.3	14.3	14.4	14.1
2028	10		14.4	14.3	14.4	14.3	14.3	14.3	14.4	14.1
2029	11		14.5	14.4	14.5	14.3	14.4	14.3	14.5	14.1
2030	12		14.5	14.4	14.5	14.3	14.4	14.3	14.5	14.1
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	13.84800	13.81800	13.84980	13.81218	13.64513	13.80942	0.18481	
		定数 b	0.05700	0.07414	1.00404	0.01434	0.21912	0.46649	0.02915	
		定数 c		-0.00214						
		収束値 k							16	
		相関係数	0.55228	0.55283	0.55222	0.53887	0.54834	0.53851	0.55252	
		相関順位	3	1	4	6	5	7	2	
		数値順位	1	5	1	5	4	5	3	

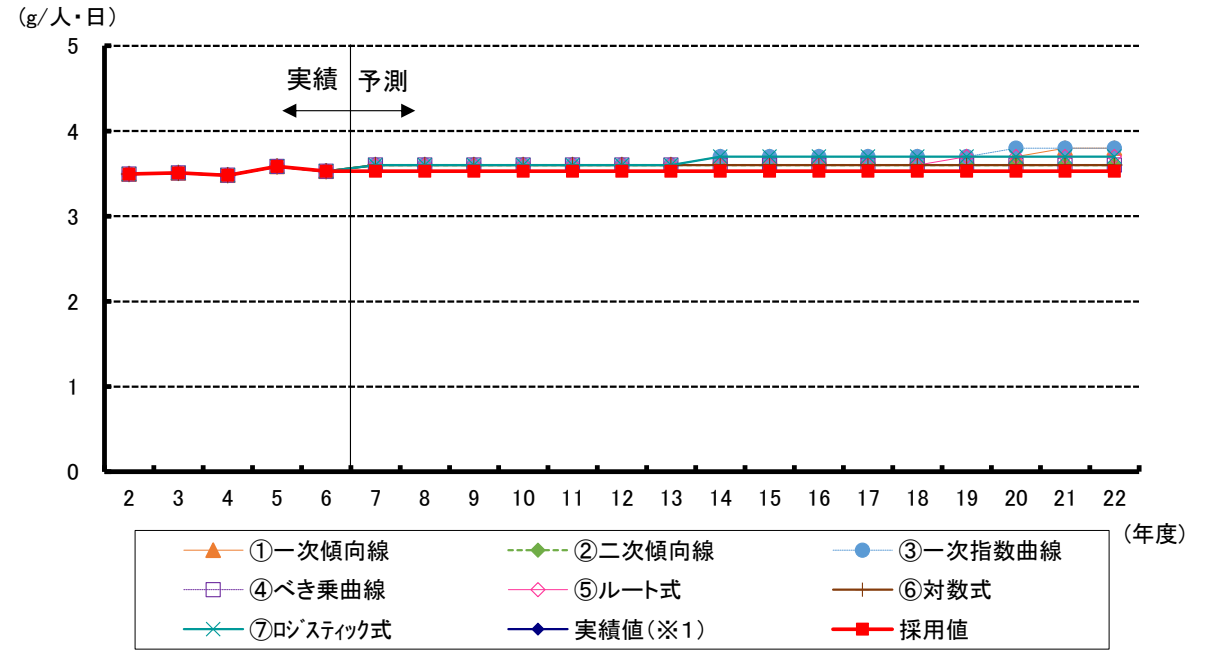


(参考値) 製品プラスチックの推計結果

製品プラスチックの参考値と推計結果を次に示します。現在、本組合では製品プラスチックについて資源化を行っていないため、本計画内における製品プラスチックの項目はハイフン（－）の表記としています。

なお、今後資源化の実施について検討を行うため、市町村分別収集計画策定の手引き（十一訂版）33ページに基づき「製品プラスチックの排出予測量＝容器包装プラスチック排出予測÷0.8×0.2」にて算出し、参考値として推計を行っています。

年度		実績値	推計値							採用値
(西暦)	(和暦) 令和		①一次傾向線	②二次傾向線	③一次指数曲線	④べき乗曲線	⑤ルート式	⑥対数式	⑦ロジスティック式	
2020	2	3.5								
2021	3	3.5								
2022	4	3.5								
2023	5	3.6								
2024	6	3.5								
2025	7		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
2026	8		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
2027	9		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
2028	10		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
2029	11		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
2030	12		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5
備考		推計式	$y=a+b\cdot x$	$y=a+b\cdot x+c\cdot x^2$	$y=a\cdot b^x$	$y=a\cdot x^b$	$y=a+b\cdot \sqrt{x}$	$y=a+b\cdot \log x$	$y=k/(1+a\cdot e^{-bx})$	
		定数 a	3.46200	3.45450	3.46245	3.45304	3.41128	3.45235	0.18481	
		定数 b	0.01425	0.01854	1.00404	0.01434	0.05478	0.11662	0.02915	
		定数 c		-0.00054						
		収束値 k							4	
		相関係数	0.55228	0.55283	0.55222	0.53887	0.54834	0.53851	0.55252	
		数値順位	3	1	4	6	5	7	2	



5) 容器包装廃棄物等の計画値一覧表

(1) 組合全体

項目	記号	計算根拠	年度	令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
			単位					
人口	あ	あ1～あ2の計	人	87,927	86,973	86,020	85,066	84,109
現住人口	あ1	構成市村の合計	人	87,927	86,973	86,020	85,066	84,109
仮設住宅等人口	あ2	復興住宅への移行により 考慮しない	人	0	0	0	0	0
ごみ排出量	い	構成市村の合計	t/年	26,598.7	26,204.4	25,671.0	25,213.1	24,760.2
容器包装廃棄物量	う	え1～え10の計	t/年	6,844.1	6,743.5	6,607.2	6,490.2	6,374.5
スチール缶	え1	構成市村の合計	t/年	186.2	183.4	179.7	176.5	173.3
アルミ缶	え2	構成市村の合計	t/年	372.4	366.9	359.4	353.0	346.6
無色ガラスびん	え3	構成市村の合計	t/年	505.4	497.9	487.8	479.1	470.5
茶色ガラスびん	え4	構成市村の合計	t/年	399.0	393.1	385.1	378.2	371.4
その他ガラスびん	え5	構成市村の合計	t/年	88.0	87.6	86.7	86.1	85.4
紙パック	え6	構成市村の合計	t/年	159.6	157.2	154.0	151.3	148.6
ダンボール	え7	構成市村の合計	t/年	1,117.1	1,100.6	1,078.2	1,059.0	1,039.9
紙製容器包装	え8	構成市村の合計	t/年	824.6	812.3	795.8	781.6	767.6
ペットボトル	え9	構成市村の合計	t/年	665.0	655.1	641.8	630.3	619.0
白色トレイ	え10	構成市村の合計	t/年	79.8	78.6	77.0	75.7	74.3
プラスチック製容器包装	え10	構成市村の合計	t/年	2,447.1	2,410.8	2,361.7	2,319.6	2,277.9
製品 プラスチック	え11	構成市村の合計	t/年	—	—	—	—	—
分別基準 適合物等 量	スチール缶	お1 構成市村の合計	t/年	103.4	102.9	101.9	101.1	100.4
	アルミ缶	お2 構成市村の合計	t/年	171.4	170.6	168.9	167.7	166.4
	無色ガラスびん	お3 構成市村の合計	t/年	223.1	222.1	219.8	218.2	216.6
	茶色ガラスびん	お4 構成市村の合計	t/年	294.7	293.4	290.4	288.3	286.2
	その他ガラスびん	お5 構成市村の合計	t/年	88.0	87.6	86.7	86.1	85.4
	紙パック	お6 構成市村の合計	t/年	9.2	9.1	9.0	9.0	8.9
	ダンボール	お7 構成市村の合計	t/年	541.7	539.2	533.8	529.8	525.9
	紙製容器包装	お8 構成市村の合計	t/年	41.9	41.7	41.3	41.0	40.7
	ペットボトル	お9 構成市村の合計	t/年	260.7	259.5	256.9	255.0	253.1
	白色トレイ	お10 構成市村の合計	t/年	15.1	15.0	14.8	14.7	14.6
分別基準 適合物等 原単位	プラスチック製容器包装	お10 構成市村の合計	t/年	461.5	459.4	454.8	451.5	448.1
	スチール缶	か1 直近推移	g/人・日	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2
	アルミ缶	か2 直近推移	g/人・日	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2
	無色ガラスびん	か3 直近推移	g/人・日	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
	茶色ガラスびん	か4 直近推移	g/人・日	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	その他ガラスびん	か5 直近推移	g/人・日	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	紙パック	か6 直近推移	g/人・日	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	ダンボール	か7 直近推移	g/人・日	16.6	16.6	16.6	16.6	16.6
	紙製容器包装	か8 直近推移	g/人・日	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
	ペットボトル	か9 直近推移	g/人・日	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
製品 プラスチック	白色トレイ	か10 直近推移	g/人・日	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	プラスチック製容器包装	か10 直近推移	g/人・日	14.1	14.1	14.1	14.1	14.1
				—	—	—	—	—

(2) 二本松市

				年度					
項目	記号	計算根拠	単位	令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2	
人口	あ	あ1～あ2の計	人	51,256	50,765	50,273	49,782	49,291	
現住人口	あ1	構成市村の合計	人	51,256	50,765	50,273	49,782	49,291	
仮設住宅等人口	あ2	復興住宅への移行により 考慮しない	人	0	0	0	0	0	
ごみ排出量	い	あ×い1×年間日数÷10 ⁶	t/年	15,402.6	15,140.7	14,799.1	14,501.9	14,207.5	
原単位（集団回収除く）	い1	基本計画に基づく	g/人・日	823.3	814.9	806.5	798.1	789.7	
容器包装廃棄物量	う	え1～え10の計	t/年	3,962.6	3,895.7	3,808.3	3,732.4	3,657.1	
スチール缶	え1	い×比率（0.7）	t/年	107.8	106.0	103.6	101.5	99.5	
アルミ缶	え2	い×比率（1.4）	t/年	215.6	212.0	207.2	203.0	198.9	
無色ガラスびん	え3	い×比率（1.9）	t/年	292.7	287.7	281.2	275.5	269.9	
茶色ガラスびん	え4	い×比率（1.5）	t/年	231.0	227.1	222.0	217.5	213.1	
その他ガラスびん	え5	い×比率（0.1）	t/年	50.3	50.0	49.4	48.9	48.4	
紙パック	え6	い×比率（0.6）	t/年	92.4	90.8	88.8	87.0	85.2	
ダンボール	え7	い×比率（4.2）	t/年	646.9	635.9	621.6	609.1	596.7	
紙製容器包装	え8	い×比率（3.1）	t/年	477.5	469.4	458.8	449.6	440.4	
ペットボトル	え9	い×比率（2.5）	t/年	385.1	378.5	370.0	362.6	355.2	
白色トレイ	え10	い×比率（0.3）	t/年	46.2	45.4	44.4	43.5	42.6	
プラスチック製容器包装	え10	い×比率（9.2）	t/年	1,417.0	1,393.0	1,361.5	1,334.2	1,307.1	
製品プラスチック	お11	あ×か11×年間日数÷10 ⁶	t/年	—	—	—	—	—	
分別基準 適合物等量	スチール缶	お1	あ×か1×年間日数÷10 ⁶	t/年	59.1	58.7	58.0	57.4	56.9
	アルミ缶	お2	あ×か2×年間日数÷10 ⁶	t/年	98.0	97.4	96.2	95.2	94.3
	無色ガラスびん	お3	あ×か3×年間日数÷10 ⁶	t/年	127.6	126.7	125.2	123.9	122.7
	茶色ガラスびん	お4	あ×か4×年間日数÷10 ⁶	t/年	168.6	167.4	165.3	163.7	162.1
	その他ガラスびん	お5	あ×か5×年間日数÷10 ⁶	t/年	50.3	50.0	49.4	48.9	48.4
	紙パック	お6	あ×か6×年間日数÷10 ⁶	t/年	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0
	ダンボール	お7	あ×か7×年間日数÷10 ⁶	t/年	309.8	307.7	303.9	300.9	297.9
	紙製容器包装	お8	あ×か8×年間日数÷10 ⁶	t/年	24.0	23.8	23.5	23.3	23.0
	ペットボトル	お9	あ×か9×年間日数÷10 ⁶	t/年	149.1	148.1	146.3	144.8	143.4
	白色トレイ	お10	あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	8.6	8.6	8.4	8.4	8.3
プラスチック製容器包装	お10	あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	264.0	262.2	258.9	256.4	253.9	

(3) 本宮市

項目	記号	計算根拠	単位	年度				
				令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
人口	あ	あ1〜あ2の計	人	29,343	29,154	28,966	28,777	28,589
現住人口	あ1	構成市村の合計	人	29,343	29,154	28,966	28,777	28,589
仮設住宅等人口	あ2	復興住宅への移行により 考慮しない	人	0	0	0	0	0
ごみ排出量	い	あ×い1×年間日数÷10 ⁶	t/年	8,778.0	8,656.3	8,488.5	8,345.3	8,203.5
原単位（集団回収除く）	い1	基本計画に基づく	g/人・日	819.6	811.2	802.9	794.5	786.2
容器包装廃棄物量	う	え1〜え10の計	t/年	2,258.4	2,227.4	2,184.5	2,148.0	2,111.8
スチール缶	え1	い×比率（0.7）	t/年	61.5	60.6	59.4	58.4	57.4
アルミ缶	え2	い×比率（1.4）	t/年	122.9	121.2	118.8	116.8	114.9
無色ガラスびん	え3	い×比率（1.9）	t/年	166.8	164.5	161.3	158.6	155.9
茶色ガラスびん	え4	い×比率（1.5）	t/年	131.7	129.8	127.3	125.2	123.1
その他ガラスびん	え5	い×比率（0.1）	t/年	28.8	28.7	28.4	28.3	28.1
紙パック	え6	い×比率（0.6）	t/年	52.7	51.9	50.9	50.1	49.2
ダンボール	え7	い×比率（4.2）	t/年	368.7	363.6	356.5	350.5	344.6
紙製容器包装	え8	い×比率（3.1）	t/年	272.1	268.3	263.1	258.7	254.3
ペットボトル	え9	い×比率（2.5）	t/年	219.5	216.4	212.2	208.6	205.1
白色トレイ	え10	い×比率（0.3）	t/年	26.3	26.0	25.5	25.0	24.6
プラスチック製容器包装	え10	い×比率（9.2）	t/年	807.6	796.4	780.9	767.8	754.7
製品プラスチック	お11	あ×か11×年間日数÷10 ⁶	t/年	—	—	—	—	—
分別基準 適合物等量	スチール缶	お1 あ×か1×年間日数÷10 ⁶	t/年	33.8	33.7	33.4	33.2	33.0
	アルミ缶	お2 あ×か2×年間日数÷10 ⁶	t/年	56.1	55.9	55.4	55.0	54.7
	無色ガラスびん	お3 あ×か3×年間日数÷10 ⁶	t/年	73.0	72.8	72.1	71.6	71.2
	茶色ガラスびん	お4 あ×か4×年間日数÷10 ⁶	t/年	96.5	96.1	95.3	94.6	94.0
	その他ガラスびん	お5 あ×か5×年間日数÷10 ⁶	t/年	28.8	28.7	28.4	28.3	28.1
	紙パック	お6 あ×か6×年間日数÷10 ⁶	t/年	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
	ダンボール	お7 あ×か7×年間日数÷10 ⁶	t/年	177.4	176.7	175.1	173.9	172.8
	紙製容器包装	お8 あ×か8×年間日数÷10 ⁶	t/年	13.7	13.7	13.5	13.4	13.4
	ペットボトル	お9 あ×か9×年間日数÷10 ⁶	t/年	85.4	85.0	84.3	83.7	83.2
	白色トレイ	お10 あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8
プラスチック製容器包装	お10	あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	151.1	150.6	149.2	148.2	147.2

(4) 大玉村

項目	記号	計算根拠	単位	年度				
				令和 8	令和 9	令和 1 0	令和 1 1	令和 1 2
人口	あ	あ1～あ2の計	人	9,014	9,042	9,070	9,098	9,130
現住人口	あ1	構成市村の合計	人	9,014	9,042	9,070	9,098	9,130
仮設住宅等人口	あ2	復興住宅への移行により 考慮しない	人	0	0	0	0	0
ごみ排出量	い	あ×い1×年間日数÷10 ⁶	t/年	2,418.1	2,407.4	2,383.5	2,365.9	2,349.2
原単位（集団回収除く）	い1	基本計画に基づく	g/人・日	735.0	727.5	720.0	712.5	705.0
容器包装廃棄物量	う	え1～え10の計	t/年	623.0	620.4	614.3	609.9	605.7
スチール缶	え1	い×比率（0.7）	t/年	16.9	16.9	16.7	16.6	16.4
アルミ缶	え2	い×比率（1.4）	t/年	33.9	33.7	33.4	33.1	32.9
無色ガラスびん	え3	い×比率（1.9）	t/年	45.9	45.7	45.3	45.0	44.6
茶色ガラスびん	え4	い×比率（1.5）	t/年	36.3	36.1	35.8	35.5	35.2
その他ガラスびん	え5	い×比率（0.1）	t/年	8.9	8.9	8.9	8.9	9.0
紙パック	え6	い×比率（0.6）	t/年	14.5	14.4	14.3	14.2	14.1
ダンボール	え7	い×比率（4.2）	t/年	101.6	101.1	100.1	99.4	98.7
紙製容器包装	え8	い×比率（3.1）	t/年	75.0	74.6	73.9	73.3	72.8
ペットボトル	え9	い×比率（2.5）	t/年	60.5	60.2	59.6	59.2	58.7
白色トレイ	え10	い×比率（0.3）	t/年	7.3	7.2	7.2	7.1	7.1
プラスチック製容器包装	え10	い×比率（9.2）	t/年	222.5	221.5	219.3	217.7	216.1
製品プラスチック	お11	あ×か11×年間日数÷10 ⁶	t/年	—	—	—	—	—
分別基準 適合物等量	スチール缶	お1	あ×か1×年間日数÷10 ⁶	t/年	10.4	10.5	10.5	10.5
	アルミ缶	お2	あ×か2×年間日数÷10 ⁶	t/年	17.2	17.3	17.4	17.5
	無色ガラスびん	お3	あ×か3×年間日数÷10 ⁶	t/年	22.4	22.6	22.6	22.7
	茶色ガラスびん	お4	あ×か4×年間日数÷10 ⁶	t/年	29.6	29.8	29.8	29.9
	その他ガラスびん	お5	あ×か5×年間日数÷10 ⁶	t/年	8.9	8.9	8.9	8.9
	紙パック	お6	あ×か6×年間日数÷10 ⁶	t/年	0.9	0.9	0.9	0.9
	ダンボール	お7	あ×か7×年間日数÷10 ⁶	t/年	54.5	54.8	54.8	55.0
	紙製容器包装	お8	あ×か8×年間日数÷10 ⁶	t/年	4.2	4.2	4.2	4.3
	ペットボトル	お9	あ×か9×年間日数÷10 ⁶	t/年	26.2	26.4	26.4	26.5
	白色トレイ	お10	あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	1.5	1.5	1.5	1.5
	プラスチック製容器包装	お10	あ×か10×年間日数÷10 ⁶	t/年	46.4	46.7	46.7	46.9
								47.0